

I 事業の概要

I-1 事業の概要

事務事業名	騒音・振動対策	所管局部課等	環境政策局環境企画部環境指導課
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-2-3-0-0_1.html	(連絡先)	213-0928
		(評価票作成者)	環境指導課長 白居 保

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性 現状のまま継続	24予算額 (千円)	目標達成度評価 指標：騒音に係る京都市環境保全基準達成率
12,089	12,011		12,025	<p>かなり悪い 悪い 普通 良い かなり</p> <p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 110% 120%</p>
業務運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 部分委託 <input type="checkbox"/> 部分補助等 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 全部補助等	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 委託先: 応用技術(株) 自動車騒音・振動測定調査		事務事業の性格 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 任意的事業 類型 4 規制・指導
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	騒音規制法, 振動規制法, 京都府環境を守り育てる条例			会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計
開始時期	昭和 45 年度	終了(予定)時期	平成 年度	

事業概要	対象	(誰を, 何を) 自動車騒音・振動等調査及び騒音規制法・振動規制法に規定する工場・事業場
	活内 容	(どのような手段で) 自動車騒音・振動, 新幹線鉄道騒音及び一般環境騒音の各調査を行う。また, 工場・事業場に対する監視・指導及び関係法令に基づく届出審査を行う。
	目的	(どのような状態にしたいのか) 市民の健康を保護し, かつ, 快適な生活環境及び良好な自然環境を保全し, その状態を維持していくことを目的とする。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	10,978	10,418	12,089	12,011	12,025
		需用費(検査材料等)	730	644	633	710	635
		通信運搬費(郵送料等)				1	
		使用料及び賃借料(会場使用料)			850		
		旅費	45	47	65	118	57
		その他	228	25	1,641	182	633
		①' 委託料 (自動車騒音・振動調査)	9,975	9,702	8,900	11,000	10,700
		② 委託料が事業費に占める割合(①' ÷ ①) (%)	90.9%	93.1%	73.6%	91.6%	89.0%
		③ 人件費(24年度は見込) (千円)	24,423	33,255	55,279	55,279	55,279
		職員(課長級) (人)	0.18	0.20	0.36	0.36	0.36
		職員(課長補佐級、係長級) (人)	0.50	0.55	1.27	1.27	1.27
	職員(係員) (人)	2.00	3.00	4.66	4.66	4.66	
	嘱託職員等人件費 (千円)						
	④ 年間経費(①+③) (千円)	35,401	43,673	67,368	67,290	67,304	
	⑤ 特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)		300	1,383	410	300	
	国庫・府支出金 (千円)		300	1,383	410	300	
	受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)						
	その他() (千円)						
	⑥ 京都市年間負担経費(④-⑤) (千円)	35,401	43,373	65,985	66,880	67,004	
	⑦ 受益者負担率(受益者負担分÷④) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

II 評価結果

事業名 騒音・振動対策

II-2 業績評価 (II-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略)

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	騒音に係る京都市環境保全基準達成率	目標値 …①	%	46,831	26,907	100	100	100
		実績値 …②	%	41,067	23,720	94.7		
		目標達成度 (②÷①)	%	87.7%	88.2%	94.7%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標		評価	良い	良い	良い	
指標2		目標値 …①						
		実績値 …②						
		目標達成度 (②÷①)	%					
	指標の種類			評価				
			総合評価					

指標の選択理由		目標値設定の考え方					
指標1	騒音に係る京都市環境保全基準が定められており、市民の健康を保護し、快適な生活環境及び良好な自然環境を保全する上で維持されることが望ましいことから、自動車騒音測定における京都市環境保全基準の達成率を指標とする。	平成21年度までは自動車騒音測定における評価戸数すべてが基準を達成することを目標としていたが、評価戸数は年度によって増減があるため、平成22年度以降は達成率100%を目標値とする。					
指標変更の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	変更前の指標名	京都市環境保全基準の達成戸数	適用年度	平成21年度まで	単位	戸
指標2							
指標変更の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指標名		適用年度		単位	
分析	<実績値の変動理由等> 自動車騒音測定は、市内主要道路を5年程度で調査し評価を行うので、年度ごとに測定地点が異なるため、目標達成度は変動する。						

B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	
	①	自動車騒音測定面的評価戸数		戸	46,831	26,907	47,487
	②	年間経費(事業費及び人件費の合計額)		千円	35,401	43,673	67,368
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)		円/単位	756	1,623	1,419
	④	単位当たり経費変動率				+114.7%	-12.6%
			評価	かなり悪くなった	かなり良くなった		
分析	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ、平成22年度の活動実績が増加したため効率性が良くなった。 平成22年度から、各保健所で行っていた公害関係業務を効率的にするべく、市内2箇所の環境共生センターで集中管理する組織改正を行った。また、自動車騒音測定の評価戸数が増加したため、効率性が良くなった。						

C 市民参加度	企画段階	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<現状分析、今後の方針等> 対象が自動車騒音・道路交通振動等調査及び騒音規制法・振動規制法に規定する工場・事業場であるため、市民の参加はない。
	実施段階	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	評価段階	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

D 市民満足度	<調査の有無> <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 該当しない		<調査結果、現状分析等>
	<調査方法>	<調査時期>	

E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 関連 <input type="checkbox"/> 一般	<現状分析、今後の方針等> 今後も道路管理者等への道路交通騒音対策の要請を行い、市民の健康を保護し、快適な生活環境及び良好な自然環境を保全しつつ、京都市環境保全基準の達成向上に努める。
-------------------	--	---

平成23年度の実施状況	自動車騒音・道路交通振動測定調査、新幹線鉄道騒音及び一般環境騒音調査を実施するとともに、工場等への監視・指導や関係法令に基づく届出審査を行った。また、近年問題となっている低周波音の測定調査を実施した。
-------------	--

市会・監査・外部機関等からの指摘	
------------------	--

III 今後の方向性

現状のまま継続	(今後の方向性の理由及び具体的な内容) 引き続き自動車騒音・振動測定、新幹線騒音測定及び一般環境騒音測定の各調査を実施し、工場等の発生源に対して効率的かつ効果的な監視指導を行う。
---------	--